

令和7年2月28日

保護者の皆様

千葉市立稲浜小学校  
校長 伊藤 陽

## 令和6年度 学校評価アンケート(後期)まとめについて

梅の花がほころび、鶯の鳴き声が聞こえる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、先日ご回答いただきました学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。結果は、今後の学校運営の参考とさせていただきます。なお、保護者の回答数は204(児童数246)で、回答率は82.9%でした。

児童用の質問内容	児童全体	低学年	中学年	高学年	保護者	教職員
<b>「たのしく(知)」</b>						
1 学校での学習に、一生けんめい取り組んでいますか。	3.6	3.7	3.6	3.6	3.4	3.6
2 自分の考えや思ったことを、進んで伝え合ったりノートに書いたりしていますか。	3.4	3.4	3.4	3.6	3.3	3.6
3 ギガタブやコンピュータを使って、楽しく学習に取り組んでいますか。	3.7	3.7	3.8	3.6	3.2	3.3
4 家庭で毎日進んで学習をしていますか。	3.4	3.6	3.3	3.4	2.9	3.2
<b>「なかよく(徳)」</b>						
5 友達や家族、地域の方などに進んであいさつをしていますか。	3.7	3.8	3.6	3.7	3.3	3.8
6 いじめをせず、友達に優しくしたり友達と仲良くしたりしていますか。	3.8	3.8	3.7	3.8	3.5	3.5
7 みんなが気持ちよく生活できるよう、進んで考えたり行動したりしていますか。	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.4
<b>「元気よく(体)」</b>						
8 体育の学習で進んで運動したり、休み時間や放課後に外遊びをしたりしていますか。	3.4	3.7	3.4	3.0	3.4	3.3
9 好き嫌いをせず、栄養バランスに気をつけて、食事をしていますか。	3.4	3.4	3.3	3.4	3.0	3.5
10 心と体が元気に過ごせるよう、生活の仕方に気を付けていますか。	3.5	3.6	3.5	3.5	3.1	3.4
<b>「開かれた学校」</b>						
11 学校だよりや学年だより、学校HP等によって、学校の教育活動を積極的に発信していると思いますか。					3.4	3.4
12 いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応などに適切に取り組んでいると思いますか。					3.3	3.6
13 児童が安全・安心に生活できるよう、安全対策に努めていると思いますか。 (交通安全・防災・不審者・性被害など)					3.5	3.5
14 連絡帳や電話連絡などを通して、適切に家庭と連携していると思いますか。					3.4	3.6

学校評価アンケートは、児童の自己評価項目を基本に、保護者用は児童の成長の見取りを、教職員用は自身の指導の振り返りをそれぞれの項目として行いました。以下の考察をもとに、子どもたちにとって価値のある充実した教育活動が推進できるよう、全教職員で努めてまいります。

今後ともご理解ご協力をよろしく願います。

○水色で表示してある部分・・・前期と比較して、0.1上回るもの

○青で表示してある部分・・・前期と比較して、0.2以上上回るもの

○薄いオレンジで表示してある部分・・・前期と比較して、0.1下回るもの

○濃いオレンジで表示してある部分・・・前期と比較して、0.2以上下回るもの

## 「たのしく(知)」について

児童の自己評価は前期同様高い傾向にあり、学習に対して主体的に取り組もうとする姿勢が身につけていることがわかります。後期は〈①主体性〉〈②表現力〉の項目において、伸びが見られました。保護者の皆様には、学習参観などの折にお子さんが熱心に学習に取り組んだり一生懸命発表したりしている様子を見ていただけたのではないかと思います。本校では「自分の言葉で伝え合える力の育成」を学校教育の柱の1つとして位置付けており、学習中疑問に思ったことやもっと知りたいことなどを先生や友達との対話を通して解決していく学習過程を大切にしています。これは、学力向上のみならずコミュニケーション能力や人間関係形成能力、自己肯定感を高めることにもつながっていると考えます。引き続き研修を通して授業改善を図り、毎日の学習を大切にしながら児童の成長を支えられるよう努めてまいります。

〈④家庭学習〉については、保護者の見立てが前期同様2.9ポイントとやや低い評価となりました。本校では特色ある教育活動として「自主学習ノート」の取組の奨励、「家庭学習の手引き」の配付などで、その定着を図ってきました。保護者の方からの見立ては十分とは言えませんが、取組については、一定の成果はあったと考えています。校内で検討した結果、子どもたちの放課後の過ごし方が多様化していること、児童数の増加によりノートの点検作業が難しくなることを踏まえ、全校での自主学習ノートの取組は、今年度までとすることにしました。次年度からは、語彙力向上に向けた取組(漢字や俳句など)に、学校として力を入れていくことを計画しています。活動の詳細は、新年度にお知らせします。

家庭で机に向かい学習する時間をもつことは、自ら主体的に学ぶ姿勢を育むために大切な機会です。学校では、学級の実態や学習進度に応じた宿題を引き続き出してまいります。ご家庭でも家庭学習の定着に向けてお声がけをよろしくお願い致します。

## 「なかよく(徳)」について

この項目も児童の自己評価が非常に高くなっており、前期に比べて数値が向上した学年が多くなりました。これもご家庭での励ましがあつたからこそだと思います。今後さらなる向上を目指すために、道徳教育の充実を図っていきます。特別の教科「道徳」では、答えが一つではないさまざまな道徳的課題について考えたり話し合ったりしていますが、一人ひとりが自分自身の問題として捉えられるよう、学習の進め方を工夫していきたいと思ひます。また、挨拶や言葉づかいなどの基本的なマナーや礼儀は、集団生活を通して人と関わる中でこそ、その価値を実感できるものです。学級活動やふれあい活動、委員会活動などを充実させることで、互いの良さを認め合ったり協力して活動したりできる場を多く設定し、コミュニケーション能力の育成を図っていきます。

〈⑥思いやり〉についての児童の見立ては3.8ポイントと、子どもたちが思いやりや感謝の心をもって生活できていることがうかがえます。いじめや不登校などの生徒指導・教育相談に関わる問題の解消には、保護者の方と学校の連携が不可欠です。お子さんが安心して学校に通えるよう、また保護者が安心して通わせられるよう、引き続き連携を密にし、早期発見・早期対応につなげられるよう努めてまいります。なお本校には、スクールカウンセラーが週一回程度配置されています。勤務日は学校日よりお知らせしていますので、予約を取りたい場合は教頭までご連絡ください。

## 「元気よく(体)」について

この項目についても、児童の自己評価が前期に比べて向上しました。2月に入って工事のフェンスが撤去されたため、校庭を広く使って元気に遊ぶ子どもたちの姿が多く見られるようになってきました。

〈⑧運動〉について、上学年になるにつれてやや数値が下がっていることが課題となっていました。解消には至りませんでした。しかし、5・6年生が大会に向けて取り組んだ陸上運動やボール運動の様子からは、運動への高い関心や意欲が感じられます。次年度以降も、体育学習の進め方を見直して運動量を確保したり休み時間に学級レクなどを積極的に行ったりして、運動に親しむ機会を意図的に設定していきたいと思ひます。

この項目に関しては、保護者からの評価が前期に比べてやや低く出ています。本校では食育や保健指導について、栄養士や養護教諭などが専門性を生かして授業に参加したりギガタブの電子連絡板を用いて情報発信を行ったりしています。引き続き、保護者との連携を意識しながら、お子さんの心身の調和のとれた成長を促していきたいと思ひます。

## 「開かれた学校」について

前期に比べ、保護者の評価が改善傾向となりました。子どもたちが健全に育っていく上で、学校・家庭・地域の連携は欠かせないものだと考えます。引き続き、学校での取組をお知らせする機会を工夫しそれぞれと連携を図ることで、保護者や地域の皆様に信頼される学校づくりをより一層推進していきたいと思ひます。